

令和元年度かながわ学びづくり推進地域研究委託事業受託地区の取組【茅ヶ崎市】

1 研究のねらい・内容

茅ヶ崎市教育基本計画のもと、本市の推薦研究校を対象に、児童・生徒の学びの質を高めるための校内研究を柱とした授業改善、特色ある学校づくりの実践研究を継続し、研究成果の普及を図る。

【研究のねらい】

- ① 推薦研究校を対象とした本事業の割当【選択と集中】
- ② 校内研究を中心とした授業改善と特色ある学校づくり【学びの質の向上と教育課程の創造】
- ③ 研究成果の発信【独自性と共有】

2 推薦研究校取組

◆ 茅ヶ崎小学校（平成29年度～令和元年度）

研究テーマ	つながりから生まれる学び（教材・友だち・単元をこえたつながり）～対話を通して～
取組の成果	教員の授業への取り組み方（一斉指導にかたよらない）と、言葉に対する意識の変化。
取組の課題	継続的に行うことの難しさと個人レベルで授業内のスキルを伸ばす必要性。また、本校に新たに赴任した教員がスムーズに研究に取り組みやすくすること。

◆ 小出小学校（平成30年度～令和2年度）

研究テーマ	元気な学びを目指して～小出の特色を生かした授業～
取組の成果	地域の方へのインタビューや小出の郵便風景印づくりなど、本校の特色を生かした授業づくりをさらに広げることができた。
取組の課題	地域の特色を生かした学習の各教科における位置づけや、児童の主體的な学びにつなげていくことについてさらに研究を深める必要がある。

◆ 鶴が台小学校（平成29年度～令和元年度）

研究テーマ	「笑顔と真顔」～単元全体を見通した授業づくり～
取組の成果	一つの授業ではなく、単元を見通した授業づくりを心がけるようになった。教員の「授業づくり」「授業を見る視点」が広がった。
取組の課題	授業を見合う時間をどう確保するか。子どもの「問い」や「気づき」から単元をつくり上げていく過程をどのように記録し、次につなげていくか。

◆ 鶴嶺中学校（平成30年度～令和2年度）

研究テーマ	カリキュラムマネジメントの充実～主体的・対話的で深い学びにつなげる指導の工夫～
取組の成果	復唱を積極的に行うことで、生徒の授業を聞く姿勢が良くなり、主体的・対話的な学びを意識できる時間が増えてきている。
取組の課題	授業の目標、問いの掲示をさらに工夫し、その時間の内容について生徒一人一人がイメージできるようにしていきたい。

◆ 北陽中学校（平成29年度～令和元年度）

研究テーマ	学びを実感できる授業づくり～考え・伝え・創り出す～
取組の成果	生徒が学びたくなる「しかけ」を研究しながら、教員一人一人が授業改善に努めた。その成果は様々な生徒アンケートからも窺える。
取組の課題	生徒が社会とよりよく関わるために、今、学んでいることが社会でどのように活用されるかを見据えた授業づくりをしていきたい。

3 総括

① 成果

- ・ 各学校における児童・生徒の実態を踏まえた学びの質を高めるための教育課程の創造及び授業改善への取組が見られた。
- ・ 授業を丁寧に振り返ることを通して、授業改善が進み、児童・生徒の学習理解をより一層深めることができた。
- ・ 推薦研究校を対象に本事業を実施することにより、各学校がそれぞれの研究テーマとリンクさせながら研究を推進するとともに、研究発表会において、その成果を市内全体に発信することができた。今後も、新学習指導要領に掲げられた「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、推薦研究校と本事業をリンクさせた形での研究を継続していきたい。

② 課題

- ・ 校内研究を柱とした、各学校の特色を生かした質の高い学びにつながる教育課程の創造については、常に研究と模索を続けていく必要がある。